



「広島市祇園・長束地域包括支援センター」では、おおむね 65 歳以上の方を対象に、専門の職員(保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー)が介護予防の支援をはじめ、健康福祉などさまざまな相談に応じます。

認知症は早期発見・早期治療が大切

～認知症の相談を受けた方の認知症進行度を分析しました～

R3.4.1～R4.12.31 圏域内 新規相談時の認知症進行度

	0名	8名	14名	10名	3名
	症状のない時期	気づきの時期	発症した時期	いろいろな症状が出てくる時期	身体の動きが悪くなる時期
相談時の症状		物忘れが出てきた 怒りっぽくなった 薬の飲み忘れが増えた 意欲が低下してきた	ひどい物忘れ 自宅トイレの場所が分からなくなった 薬の管理ができなくなった 近所に外出後、家の方向が分からなくなった	自宅から出た後行方不明になり、警察に保護された 服装に違和感がある 更衣・入浴をしていない 洗濯機が使えなくなった 尿臭がある排泄物を触る	同居家族の顔が分からなくなった 立ち上がりが困難。家事、入浴介助はすべて息子が行う

※認知症が主訴の相談に限って抽出

認知症あんしんガイドブック 広島市版より

認知症の「気づきの時期」までを早期発見としたとき、7割以上は「発症した時期」以降に相談に来られており、周囲の方が何らかの対応が必要な状況になってからの相談ということが分かりました。

疾患や症状によりますが、早めに薬を飲むことで認知症の進行を遅らせることができる場合があります。認知症の治療効果は、**発見が早ければ早いほど高くなる**とされていますので、早めに認知症の専門医を受診してください。

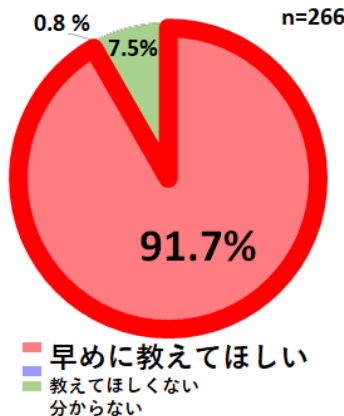
～「物忘れがひどいよ」と早めに伝えてほしい人がほとんど～

認知症に関するアンケートを、地域住民の方々に向けて実施しました。

「物忘れがひどいなどの認知症のような症状が現れたら、家族や友人から早めに教えてほしいか」という質問に対し、**91.7%の方が「早めに教えてほしい」と回答**しました。

早期発見、早期治療のために、家族や周りの人が「物忘れがひどいな」と思ったときは、そのことを本人に伝えて、**認知症専門医の受診をうながしてあげることが、その方の適切な治療につながります。**

Q. あなた自身に物忘れがひどいなどの認知症のような症状が現れたら、家族や友人から早めに教えてほしいと思いますか？



「教えてほしくない」「分からない」と答えた理由 (複数回答可)

- ショックを受けると思うから 20名
- 認知症になったら治らないと思うから 8名
- その他 7名

約 200 万円の被害が発生

ニセ医者とニセ息子のオレオレ詐欺に注意！！



広島市内で、医者や息子になりすましたオレオレ詐欺が発生しています



1. ニセ医者からの電話

「息子さんの喉にポリープがあり、応急処置をした」



2. ニセ息子からの電話

- ①「病院で財布と携帯を盗まれた」
- ②「会費で〇円必要だから用意して」
- ③「知り合いの若い男に取りに行かせる」



えええ!?

お金が必要!?



息子の知り合いになりすました犯人が、自宅までお金を取りに来る



息子や孫になりすまして
喉の調子が悪い + お金が必要 = 詐欺
このようなことがあったら 110 番へ通報して下さい

ご相談・お問い合わせは

広島市祇園・長束地域包括支援センター

〒731-0137

広島市安佐南区山本1丁目4番25号

電話:082-875-0511

